

保健師の原点回帰

時代が変わっても日本の保健師活動の
原点は変わらない



福島県保健師長会研修

2015.7.11

元 杏林大学看護学科教授

保健師のためのなごみ相談室主宰

塚原洋子

～本日のお話の組み立て～

歴史的背景ごとに塚原の経験・学びをお話していきます

- ☆ 現在の保健師活動を語るための背景・原点
保健師が取り組む健康課題の変遷
保健師業務要覧 50年前の教育

- ☆ 歴史的な視点で見る

I 昭和30年代 II 昭和40年代 III 昭和50年代
IV 60年代から平成初期 V 平成元年から12年頃
VI 12年から最近まで
VII 出会った事例からの学び
VIII 保健師として成長するための自己研鑽

IX 後輩指導育成 私の方法

- ☆ まとめ



保健師が取り組む 健康課題の変遷

自殺対策 認知症対策
生活習慣病予防

介護保険 健康日本21
健康危機管理(虐待対応含む)

高齢者保健福祉対策と
子育て支援(エンジェルプラン)

保健・医療・福祉の
ネットワークとQOL向上のための活動
介護予防・地域包括
支援センター
ゴールドプラン21

老人保健事業と
健康づくり活動

成人病から
生活習慣病へ

医療費適正化

精神障害者の
家庭訪問と成人病対策

障害者プラン
策定

障害者の自立支援
発達障害者の支援

結核対策と
母子保健活動

児童福祉法から
母子保健法制定

新エンゼルプラン
健やか親子21

児童虐待・DVへの対応

伝染病防疫・結核患者家庭訪問

HIV DOTS 新型感染症対応
感染症法律改正

S 20

30

40

50

60

H 元

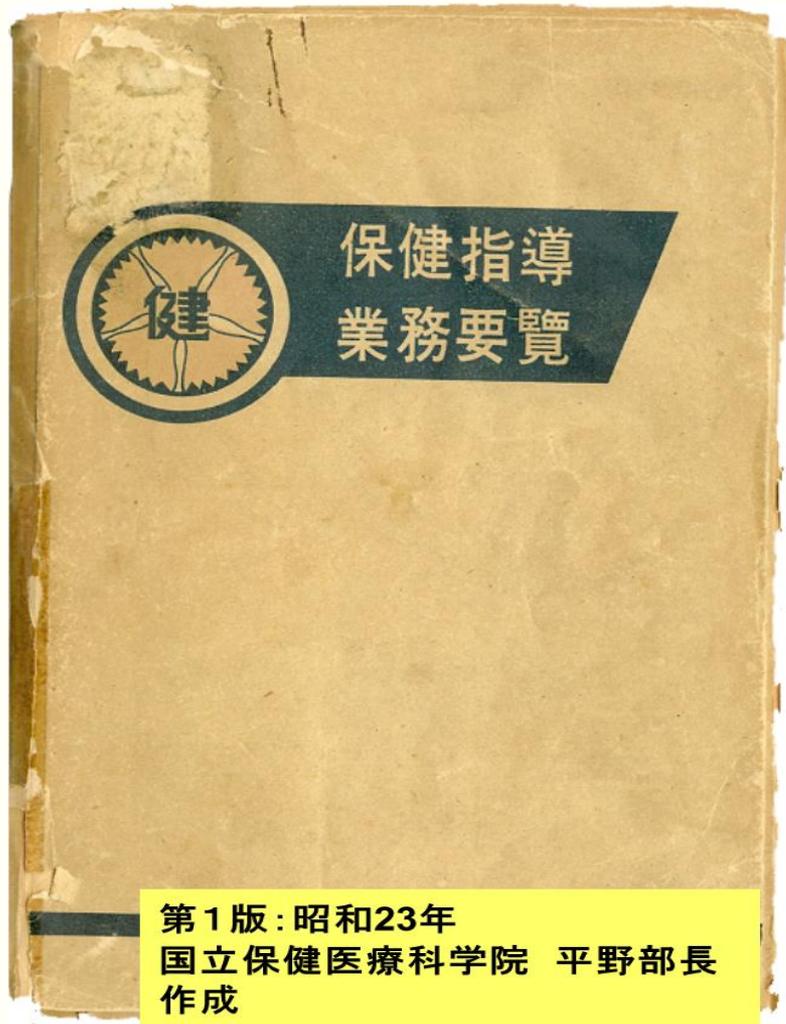
10

20

新版保健師業務要覧
より塚原改編

保健婦・保健師業務要覧

昭和23年と平成25年版



保健師業務要覧にみる保健師活動

第1版 保健指導業務要覧(1948)

保健婦事業： 個人および集団を対象として、疾病を予防し、健康の補助増進につとめ、異常障害を是正して、生活環境を整備改善すること

① 家庭での熟練した看護

② 家庭における家族の人々の教育

③ 地域内の諸機関や施設あるいは団体の事情に通じる；社会保険，社会事業・・・

保健指導事業： 地区内の生活全体が保健的に満足し文化的に幸福な生活に入る・・・

そのためには対象地区について、あらゆる事象を知る必要がある。それは単に現状を把握するのみでなく、現在の生活を基礎づけ、左右している全ての自然的・人文的環境を把握し、科学的に批判すること（地域診断）である。そうしてはじめて、その地区に最も適した保健活動が行われるのである。

保健師の行う保健指導とは

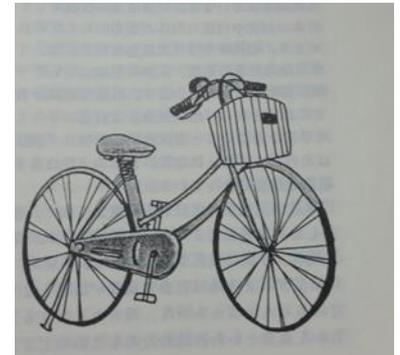
1963年4月初版 公衆衛生看護双書 『当時の教科書です』

☆個々人の持っている健康上の問題を自ら理解し、それが解決できるような問題を持っている人を援助すること。

☆指導という言葉の意味は個人が自らの問題を承認し行動を開始して進歩し、自らを治めてゆくことをねらうものである。

☆その対象は個人・家族単位さらに地域住民へと広がりを持つ。

☆社会全体を健康にして行く仕組みをつくる。



保健師業務要覧にみる保健師活動

新版 第3版 保健指導業務要覧(2013)

保健師活動は、保健婦規則制定から一貫して社会のニーズ、行政施策の変遷と直接関連して国民的健康課題に取り組んできた。

新たな健康課題が次々と顕在化する中、保健師は既存の活動の上に、その時代に合った活動を積み重ねて展開している。

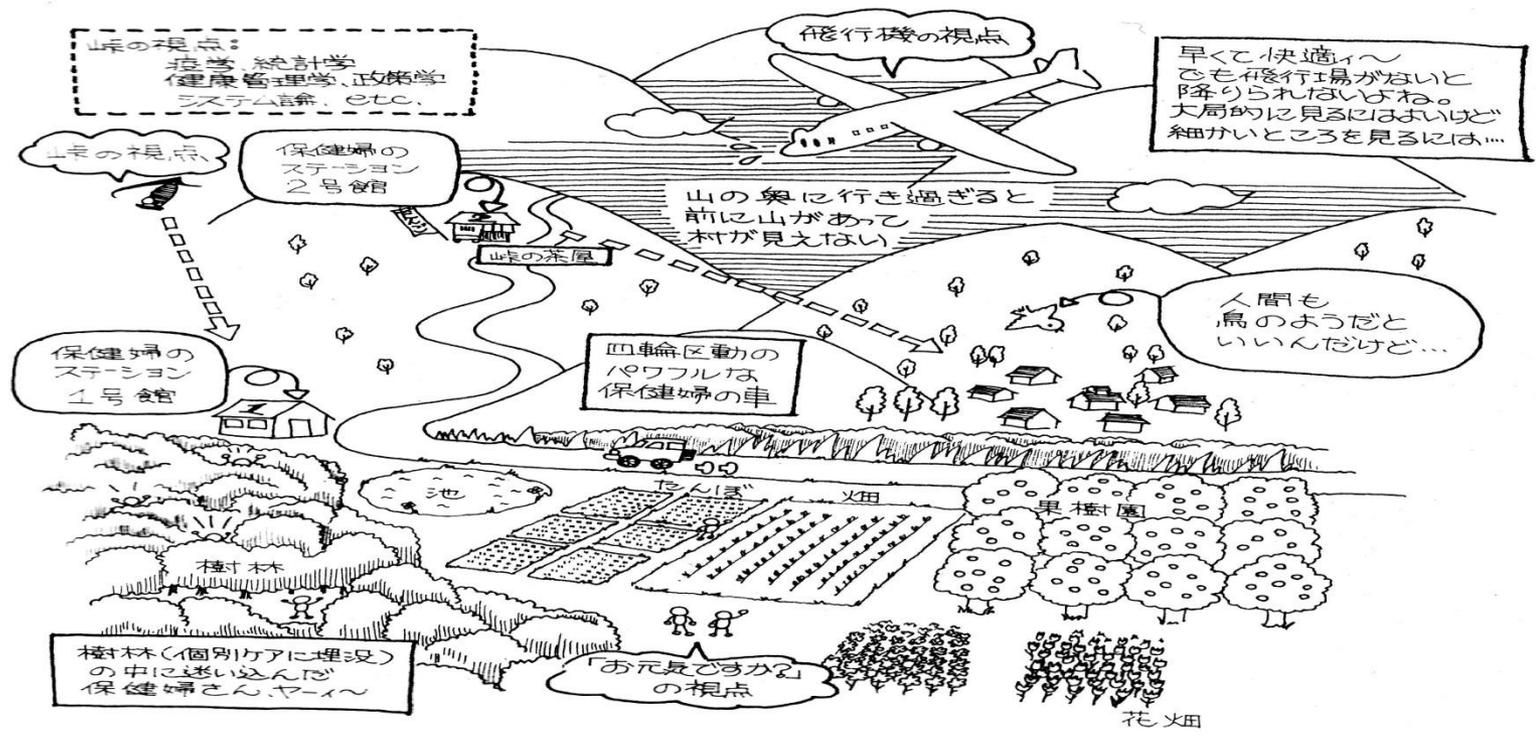
保健師活動は時代の推移とともに、その対策も、内容も、拡大の一途をたどっている。

保健師活動の実績を踏まえると、保健師とは「当時者が自らの健康課題を解決するプロセスへの援助を核とし、地域を基盤に健康問題をとらえ、予防につながる組織的な取り組みを担い、公的責任を志向する公衆衛生看護専門職」である。

みる・つなぐ・うごかすの理念

昔も今も変わらない

保健婦の地域活動の視点 —あなたはどこにいる？—

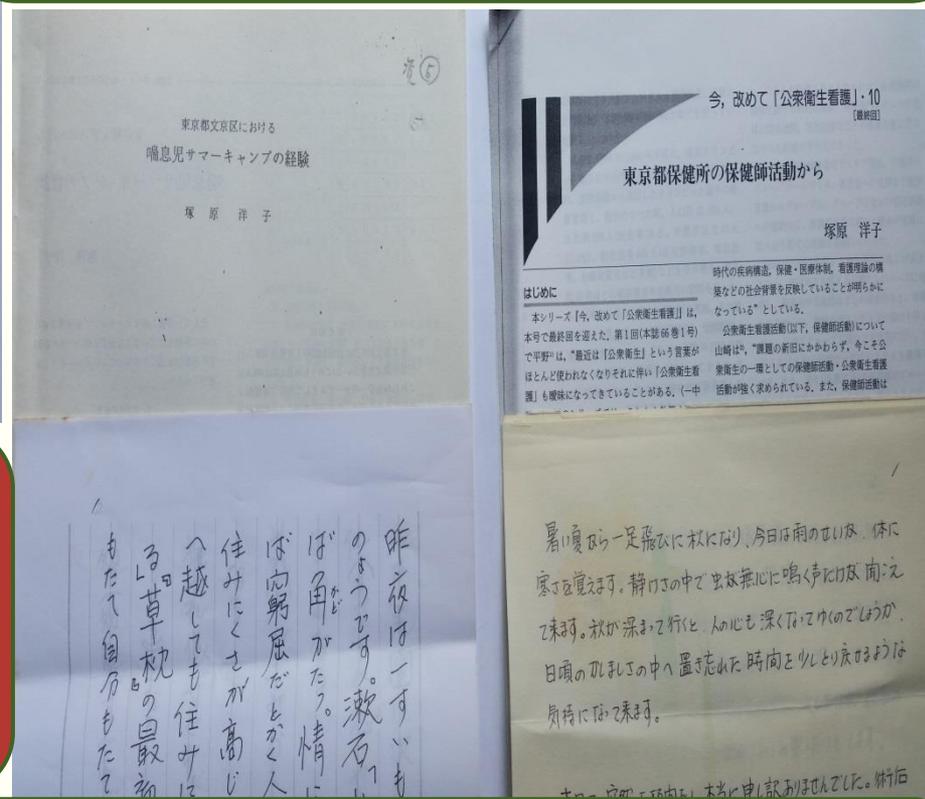


私の保健師としての原点 1964年(昭和39年)

「いずれ専門保健師制度になるだろう、そのためにもライフワークを持ち、実践は記録に残しておきなさい。学会発表もチャレンジして」との恩師の言葉を大切に。

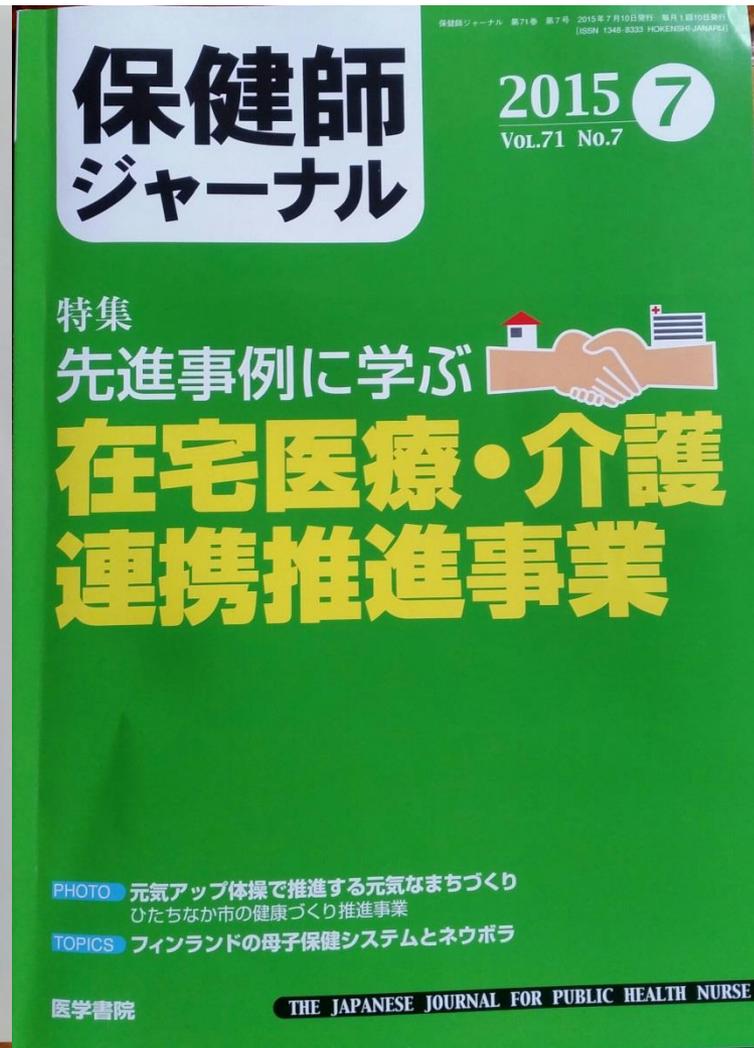


渋谷保健所で遠隔地域を担当し、ほぼ毎日、家庭訪問(月に約60件)や、出張健康相談・健康教育(年間約50回)を実施した。学生時代に学んだ地区診断で地域の健康課題を整理し、活動計画を立てた。



この年は、全国民が東京オリンピック開催で浮かれていました⁹

学生時代からの愛読雑誌も 52年間で変化を遂げました



保健師活動の歴史を振り返る

皆様はどの時代に保健師として誕生しましたか？

資料を基に自身の活動を振り返り、活用しましょう



法制度が急激に変化し従来型の
保健師活動ができにくくなって
いることは事実ですが

「日本の保健師の原点は変わりま
せんね」

資料

「ふみしめて50年」「ふみしめて70年」

日本公衆衛生協会発行

東京都多摩の保健婦・士会発行 他

I 昭和30年代 結核対策と母子保健活動

昭和38年 老人福祉法 保健医療制度調査会答申

重点的な活動

- *成人検診活動(がん検診)
- *乳児死亡ゼロの運動
- *新生児訪問・未熟児訪問指導
- *3歳児健診
- *ポリオ流行に関する活動
- *成人病に関する活動

キーワード

地区診断 業務測定 共同保健計画 保健ニーズ 全戸訪問 多受診
無受診対策 臨床実習 社会統計
社会資源 地区踏査 訪問靴

「ふみしめて50年」「ふみしめて70年」
日本公衆衛生協会発行より塚原改編

1964(昭和39)年東京都の保健師になりました

地区診断
地区組織活動
出張母親学級
出張育児相談
看護教室

☆渋谷保健所幡ヶ谷・笹塚(人口32000)担当、遠隔地であるため、事業はすべて出張。
☆学校で学んだ、地区診断や地区組織活動で醍醐味を毎日感じていました。
☆看護教室は1年コース予算は町会ですし出してくれました。

事例集 1～9(泣き笑いの日々)

結核管理カードの使用
母子管理カードの使用
活動記録

全国に先駆けモデル事業でビジブブルカード・母子管理カードを使用し改善を図りました

東京オリンピック選手村が代々木公園にありました
村の健康管理にかり出され片言の英語でお仕事

II 昭和40年代 精神障がい者の家庭訪問と成人病対策

40年 精神保健法改正 母子保健法制定
42年 公害対策基本法 43年 基幹保健所構想

重点的な活動

- *寝たきり老人の訪問活動
- *精神障がい者の訪問活動
- *公害患者の訪問活動
- *地域リハビリに関する活動
- *障害児に関する訪問活動
- *母子保健法による健診・保健指導の充実

キーワード

乳幼児保健指導 乳幼児相談
寝たきりおこし運動 健康パトロール
家庭看護教室
対人保健サービスは市町村へ移管する方向
個かマスクか

駆け出しの渋谷保健所～新設の都庁公害保健課

- ☆ ほとんど保健所にはおらず、毎日家庭訪問や健康相談会・教育
- ☆ コロンボ計画による結核留学研修生の訪問指導
(東南アジアからの留学生につたない英語で)
- ☆ 地区診断について、学会発表
- ☆ 公衆衛生学会シンポジウム
(住民のための健診のあり方)

渋谷保健所

☆ 地域住民の皆様から都庁への転勤反対運動をされる

- ☆ **公害保健**・大気汚染・水質汚濁
疫学調査

東京都衛生局

公害保健の保健師は初めて設置



Ⅲ 昭和50年代

老人保健事業と健康づくり活動

52年 1歳6か月児健診 53年 第1次国民健康づくり政策 国保保健師の身分一元化 54年 WHOアルマアタ宣言 56年 感染症サーベイランス
57年老人保健法

重点的な活動

- *母子保健法による健診・保健指導の充実 *継続訪問
- *健康づくりに関する活動
- *難病患者・在宅療養者への訪問
- *アルコール依存症薬物依存に関する活動
- *登校拒否・被虐待児に関する活動
- *老人保健法関連事業(寝たきり老人訪問看護事業・機能訓練事業)

キーワード

障害児のケアシステム 発達健診
生活臨床(地域精神衛生)
効果測定(仕事の結果分析)
保健婦ステーション 健康教育
節目検診
健康づくり 保健センター
プライマリケア

昭和50年から文京区衛生部（32歳）

・54年から東京都衛生局防疫課

• 喘息児サマーキャンプ創設

• 訪問看護制度創設

• 訪問看護師研修

医師会・保健所保健師との交渉の困難さは忘れられません

• 遺伝相談開始

• 保健師増員計画



• 輸入感染症対策

• 感染症対策保健師の役割をまとめる

なぜ私がここに??ともがきつつ5年

文京区では
ピンクレディー全盛時代の1976年から公害病認定児
童のサマーキャンプを5泊6日(小3~中3)全国に先
駆け実施しました。手探りでの企画は夢中でした。



事例集10・11の2人は、現在もおつきあい
しています

IV 昭和60年代, 平成初期

保健 医療 福祉のネットワークとQOLのための活動

60年 第一次医療法改正 62年 在宅ケア遅れの指摘 高齢者サービス調整
推進事業 62年 介護福祉士法 63年 訪問看護等在宅ケアモデル事業
63年 精神保健法 平成元年 エイズ予防法 2年 ゴールドプラン
2年 健やかに子どもを産み育てる環境作り 4年 老人訪問看護ステーション

重点的な活動

- *エイズに関する活動
- *思春期の子どもに関する活動
- *痴呆性老人に関する活動
- *子育て支援に関する活動
- *精神障がい者のデイケア 作業所
作りの活動
- *在日外国人の健康問題や子育て
に関する活動

キーワード

地域保健医療計画 在宅ケア
地域ケアシステムづくり 地域ニーズ
住民参加 組織づくり 健康学習
QOL コーディネーター ネットワーク
地区分担制と業務分担制
セルフケア ヘルスプロモーション
保健・医療・福祉 大卒保健師
少子化対策 合計特殊出生率
保育園の地域化構想

30歳代の10年間を行政の中で勤務し、やっと三鷹保健所へ(母子保健担当主査・地域も担当の8年間)

☆ 子育ての親の会のネットワークづくり

(おむすびの会・はるかぜの会・若年ママの会)

はるかぜの会記念誌発行

☆ 障害児のケアシステムづくり 巡回療育相談事業見直し

☆ 保育所連携(ネットワーク会議の開催)

☆ 難病保健指導の研究

☆ 精神デイケア作業所づくり 痴呆老人のケア研究

☆ ケース台帳の整理 ☆保健福祉調整会議

☆ 三鷹の小中学校10校の教員向け研修:思春期問題

事例集22への対応から学校に呼ばれることになる

☆ 新人保健師教育プログラム作成 (東京都のベースとなる)

☆☆☆☆時代がそうさせた 三鷹でのいくつかのエピソード☆☆☆☆

はるかぜさん（障害児）、子育て親の会（おむすびの会）
若年ママの会（ピッコロ）の集いに保育園長や保育士さんも
ボランティア参加してくださる

（平成元年の厚生白書で取り上げられました）

事例集 12, 13, 17, 19, 20の親子
はこちらのメンバーさんです

母子保健法改正反対運動
母子保健サービスセンターの
データに実名入力阻止



V 平成元年から12年頃にかけての時代背景と 保健師活動

- ☆経済の低迷、少子高齢社会、単身世帯の増加、阪神淡路大震災、
- ☆平成の大合併
- ☆成人病から生活習慣病、死者を出すO157等新興感染症の発生、
男女の平均寿命80歳前後に延伸
- ☆身近な保健サービスは市町村へ

平成3年 救急救命士法 4年 看護師等人材確保促進法 7年 高齢社会対策
基本法・地方分権促進法 9年 地域保健法完全実施 母子保健法改正
精神保健福祉法 10年 感染症予防法

キーワード

保健師活動の課題

- *活動や事業の企画、評価が課題に
- *福祉分野に保健師配置、保健と福祉の連携が課題に
- *児童虐待への対応
- *災害時の保健師活動

健康危機管理 児童虐待 地域ケア
コーディネーション

難病患者・重症児の在宅ケア

☆地域保健法施行により、地区分
担制から業務分担制を取る市町
村が増加

平成5年から稲城保健相談所・7年から府中保健所 地域保健法・母子保健法改正(保健所再編 ・母子保健事業市町村移管でますます激務)

☆ ALS患者さんの在宅ケア実践 エイズ対策、学校との連携

☆ 地域保健福祉計画

(訪問看護師とヘルパー業務の違いが分からない
市の係長がいた時代)

保健相談所

☆ 保健所再編準備 ・母子保健計画

☆ 府中市 健康ふちゅう21策定委員会

☆ 精神グループホームづくり調整

☆ 阪神淡路第震災への保健師活動

☆ 難病患者管理台帳パソコン入力システムづくり

府中保健所

事例集23 ALSの細井さん

地域に資源の乏しいなか、保健師が頑張り
ボランティアさんを確保して在宅療養を可能にした



イラストはプロ級の腕前の新人保健師が書いた生活日記
関係者は毎日全員で記入したト

平成9年日本地域看護学会発足時

これからの地域看護はSTRATEGY（戦略）の時代と
会長は発言し学会誌の表紙も



戦略とは：具体的な実践的な
「戦術」に対してより大局的、
長期的なもの

VI 平成12年から最近まで

☆経済不況、経済の停滞、非正規雇用の増大、人口減少社会、
☆東日本大震災 ☆超高齢社会への対応地 域包括ケアの推進

12年 介護保険法 児童虐待防止法 12年 健康日本21,健やか親子
21推進 13年DV保護法 保助看法改正(保健師へ)
14年 健康増進法
15年 次世代育成支援対策推進法 16年 発達障害者支援法
17年 障害者自立支援法 18 がん対策基本法 自殺対策基本法
25年保健師活動指針 27年 難病法

保健師活動の課題

- *保健所の企画調整機能をどのように果たすか
- *介護保険時代の保健師活動のあり方
- *健康日本21, 健やか親子21計画
- *保健師教育の変化
- *保健師活動形態の改革
- *統括保健師の設置

キーワード

行政事務事業評価 生活習慣病
PDCA ソーシャルキャピタル
子育て支援 虐待予防
統括保健師 医療制度改革
☆人材育成 キャリアダラー
☆保健師のメンタルヘルス

平成12年から
杏林大学保健学部看護学科に移籍
退官後は各自治体の保健師等人材育成と
ボランティア活動

- ☆ 中学生徒向け講義（中学2年生の頃の将来の夢）
- ☆ 笛吹高校生徒向け講義
（予期せぬ事が起こったら あなたはどうしますか？）
- ☆ 保健医療科学院・看護系大学での講義
- ☆ 全国保健所長会で「保健所長にもの申す」講演
- ☆ P会とPP会（pp会になってから22年継続中）

保健所長に求められる役割と期待 保健師の立場から



平成15年1月30日

杏林大学保健学部 塚原洋子

保健所長と保健師との関係

(全国のリーダー的存在の保健師のアンケート調査から)

1. 調査対象・調査時期:

公衆衛生看護管理コース修了者(全国から受講)、東京都特別区保健師、東京都多摩地域保健所課長補左 計40名中

回答者 28名(回答率70.0%)

調査時期:

2002年11月(郵送法、無記名式)

2 調査内容

- ① 保健師としての経験年数
- ② 現在の職位
- ③ 何人の所長と仕事をしてきたか
- ④ この所長は仕事がしやすいと感じた事は
- ⑤ 仕事がしにくいと感じた事は
- ⑥ 保健所長との関係で困ったことは
- ⑦ これからの地域保健活動を推進して行くに当たり、保健所長に希望すること等

結 果

仕事がいやしいと感じた内容

- ① 国や都道府県の行政動向を十分に把握し、保健所の方針・目標を明確にしている
- ② 組織内の調整能力、業務評価の視点を持っている
- ③ コミュニケーションが図れる
- ④ 地域の関係機関との連携・調整力
- ⑤ 対人関係能力を発揮。
- ⑥ 所長自身やる気がある
- ⑥ 将来展望を持ち職員育成ができる



仕事が生にくいと感じたこと

- ① 組織目標が明確でない
- ② 管理者としての管理運営手腕の不足
- ② 所長自身の考えが明確に伝わらない
- ③ リーダーシップを発揮していない
- ④ 管理職としての自覚に疑問



保健所長への希望-1

- ①公衆衛生のトップとして目的意識を持ち、これからの地域保健を語って欲しい
- ②組織人としてのマネージメント力を持ち、保健所内のみならず管内市町村をバックアップできる人
- ③専門的判断ができ
(行政マンとしても医師としても)
その判断が行政運営に生かせる



保健所長への希望-2

④職員の人材活用・育成が図れる

⑤これまでの日本の公衆衛生の歴史を学び、
また福祉・教育等関連分野の視野も広め、
経歴には関係なく公衆衛生のリーダーとして

自己啓発を行って欲しい



VII 事例からの学び

駆け出しの50年前からの関わり事例の中から
私を育ててくれた主な事例、
31事例を記憶の範囲でまとめました。

(別紙)

現在の塚原流
個別支援技術の源です。



Ⅷ 保健師として成長するための自己研鑽

☆ 都のエイズ対策課題対応の海外出張(公費)

ブラジル・アメリカ(ニューヨーク)の視察

☆ ソビエトの保育事情視察団

(ロシア語を習い準備したが突然の都庁転勤事例のため断念)

☆ 1989年(昭和64年)から個人での研修

- ・ オーストラリア・ニューサウスウェールズ(高齢者在宅ケア)
- ・ カナダ・トロント看護学部(在宅看護の事情)
- ・ カナダ・ジョンズホプキンス大学(痴呆老人対策)
- ・ フィンランド(保健福祉事情)17年継続

☆ 各種学会員 学会参加 専門誌の購読

☆ 異業種ネットワーク

Ⅸ 後輩の指導育成 私の方法

- ① 把握する
- ② 聞く
- ③ 見せる・説明する
- ④ 感心する・褒める・声をかける
- ⑤ 話し合う
- ⑥ 相互に学ぶ
- ⑦ タイミングを逃さない
- ⑧ 体験させる・考えさせる
- ⑨ 目標を持たせる
- ⑩ ミスしたときの対応

<まとめ>

公衆衛生看護管理の視点で、もう一度管内を、業務を周り、見渡してみましよう。

自分たちの持っている機能、重要性を再確認し、自信を持ち、元気を出して職能の力を発揮しましょう。

後輩はそれを期待しています。

- アンテナは高く，耳はダンボに
- 対象から学び続ける
- 周囲の動きに敏感に（地域力を知る）
- 他職種との交流を
- 自分らしい管理能力をつける
- 自己啓発・自己実現を図りましょう



あんな先輩になりたいな！と思われるように